



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 15

発行 令和3年7月2日
発行責任者 校長 菅野 靖



1, 2年生 尾瀬・檜枝岐で環境学習 充実



【1年生の奥会津博物館藍染め体験】



【2年生の檜枝岐歌舞伎メイク体験】



【1班尾瀬散策 ビンターセンター前】



【2班尾瀬散策 燧ヶ岳展望】



【3班尾瀬散策 大江湿原の木道】

6月24日、25日の2日間に、1, 2年生の合同で尾瀬環境学習を実施しました。1日目は、まず、奥会津博物館でスカーフへの藍染めを体験しました。どのスカーフもプロ顔負けのデザインと染め上がりで素晴らしい作品ばかりでした。その後、檜枝岐歌舞伎伝承館で歌舞伎のメイク体験をしました。生徒は、見本を参考に思い思いのメイクを楽しみながらしており、メイクをしながら笑いや歓声が上がっていました。その後、ミニ尾瀬公園でクイズラリーを行い、2日目の尾瀬散策の前哨戦とばかり事前学習を一生懸命に行っていました。早く回答した班から休憩に入り、檜枝岐名物のサンショウウオソフトクリームを食べた生徒もいました。その日は、「旅館 ひのえまた」に宿泊し、おいしい料理と温泉を満喫しました。就寝時間を守り、十分な睡眠をとり、2日目を迎えました。五箇中生の行いが良いのか、2日目も雨が上がり、日差しがさす中、旅館を後にして、尾瀬沼に向かいました。山の駅「御池」から「沼山峠」まで電気バスに乗り、その後、3つの班に分かれ、会津リゾートの3人のガイドさんに案内されて大江湿原を通り尾瀬沼まで散策しました。ガイドさんには、動植物や湿原の環境について説明をしていただき、生徒は写真やメモで熱心に記録していました。尾瀬のおいしい空気を吸いながら食べるお弁当は格別なものがあり、記憶に残る経験でした。この2日間は檜枝岐の文化（伝統・食）を身体で感じ、素晴らしい尾瀬の自然を満喫しながら環境保全について学んだ充実した時間でした。日本の宝でもある尾瀬を今後の世代にも残していけるように心がけるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を意識した生活や取組ができる大人へと成長することを願っています。

県陸上大会および少年の主張大会壮行会

6月28日に福島県中体連陸上競技大会に出場する佐藤陽香さん（1年）と齋藤正弥さん（2年）、白河市青少年健全育成推進大会少年の主張で五箇中学校の代表として発表する星昇太郎さん（3年）への壮行会が行われました。昇太郎さんは、「公平と平等」について自分の経験の中から感じていることを発表します。3人とも最高のパフォーマンスを期待します。

応援団による県陸上大会出場選手と少年の主張発表者へエール



【応援団による3人へのエール】

【激励金の交付】

五箇地区体育文化後援会より県陸上大会に出場する選手へ激励金